



価値観と情報を共有し実現できた社員定着と応募数増加

意識改革と情報共有で残業40時間削減

シリコンゴムや液晶保護フィルムを主力として製造する西山ケミックスは、まもなく50周年を迎える京都のモノづくり企業だ。社員とその家族をサポートすべく生活と仕事の調和に向けた取組を続けている。

「仕事を囲いこまないこと」「時間外労働がないことが当たり前」と森社長が何年もかけて根気強く伝え続け意識改革を促し、管理職の評価に残業ゼロを入れて、部下に仕事をうまく分配することを評価する制度への見直しや残業申告制の運営を行った。

残業が多い人にはヒアリングを実施。経緯・背景を確認し、社員のマルチタスク化を図り部門を超えた協力体制を整え、業務の平準化に取り組んでいる。各部門のリーダー間で情報共有や部門を超えた協力の必要性を話し合っている。型にはまった部門間の協力要請の手順が無いからこそ、「身近感」や「互助感」がある。パート社員自らが協力を申し出ることもあった。どの人材もスムーズに部門を超えた業務の協力ができるよう、製造機器のカスタマイズも実施した。



女性に加え、男性の育休取得を目指して

モノづくり企業の歩みのなかで従来から女性が活躍する土壌があった同社は、数年前、妊娠・出産を迎えた女性社員の存在が本格的な契機となり、ワークライフバランスの浸透を加速させた。彼女は産休・育休の第一号のため前例がどこにもなかった。全社員が『気持ちよく長く働き続けることが重要』と考えるトップの意向により、短時間勤務・パート社員も利用できる看護休暇・フレックス勤務など各種制度を導入。現在は短時間勤務の女性管理職が活躍している。最近では1時間単位の有給休暇制度を導入し、より柔軟な働き方ができるようになった。制度は家庭

の事情はもちろん、コロナ禍前はコンサート鑑賞等にも活用され社員のプライベートの充実につながっている。

男性の育休についても熱心な同社は、2人目の子どもが生まれる幹部社員クラスの男性社員がきっかけで、男性の育休取得を目指すことに。「子どもが1歳になるまでの間、最大5日間の有給取得が可能な短時間育児休暇制度」をスタートさせている。現状、育児休暇を取得すると給与が減ってしまう課題があり、取得に至らないケースもあることから、100%有給支給で休める制度へと、組織風土が根付くよう整備を進めている途中だ。初めての産休・育休の取得から男性の育休取得と時代の流れに合わせた変化を遂げている同社。「近い将来、介護休暇が必要になってくるのが予想される中、より個人個人にフレキシブルな対応が求められる。そのため下地づくりはスタートしている。」と、総務部の女性リーダーは語る。



定着率が向上し、応募者数が増加

柔軟な残業申請制によって残業時間を最大40時間削減することができ、2019年度の社内全体の有給消化率は79%になり、協力体制が整ったことにより休暇を取得しやすい環境を作ることができている。各

種制度の導入や残業時間の削減による働きやすい環境の維持向上は、社員の定着に加え、採用活動にも良い影響を及ぼしている。

新卒採用面接では「どんな人達と一緒に働いていくのか」を体感することを目的に1時間の面接のうち、30分は社内のいろんな人と会う時間に行っている。制度・環境の整備と情報共有を積極的に行う意識がけにより、応募者数増につながっている。



採用時だけでなく日々働く社員も、毎日の終業時に1日の業務内容や自らが行ったことを全社員に発信している。そこには「どう感じたか」を入力するので、他の社員にとって新鮮に感じることもしばしば。価値観の共有に一役買っており、人と人の繋がりが強くなったことで2016年以降、新卒3年の離職率はゼロとなり、パートの離職も減っている。

「会社の制度に【人】が合わせるのではなく、【個人】に制度を合わせることを大切にしていきたい」と語る森社長。トップの意向と、社員を取り巻く状況に合わせて改善していく会社としての姿勢。それを制度化し整えるだけでなく、人と人との価値観の共有や情報の共有によるコミュニケーションを促進させることで社員と会社との距離もより近くなり、社員定着と応募者増加という循環を生んでいる。

企業情報

【業種】 製造業 【資本金】 1,000万円 【従業員】 38名
 【所在地】 京都府宇治市榎島町目川138-1
 【HP】 <http://www.nsym-chemix.co.jp/>

●事業概要

ゴム製品全般の設計・デザイン・試作・量産、液晶保護フィルムの加工・販売

●各種アワード

2013年「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証

